

(アセスメントで明らかにするもの)

課題分析標準項目	状態	原因	問題(困りごと)	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)仮置き	ニーズ番号(優先順位)仮置き	
A 10 健康状態	<p>病名)脊椎管狭窄症再発 坐骨神経痛、変形性膝関節症、陳旧性脳梗塞、糖尿病、神経障害、高血圧症 通院 長谷川クリニック:月2回通院。整形外科:月1回通院 服薬 降圧剤、鎮痛剤、本人管理だが飲み忘れがある。長女が確認(土・日) 麻痺 左上下肢に軽いしびれ(開き手は右) 身長155cm 体重42.0kg BMI17.48</p> <p>・若いころから痛みがあった。 ・15年ぶり 糖尿病と高血圧の薬とのいびる ・整形外科は夫といて(あいかさ) } 2021. 長谷川クリニックは9クニ-2'行っている } ・65才から膝の痛みがでてきた。</p>	<p>基礎疾患 ・痛みにより力が減って 歩けず ・やせている。 ・DMが悪化している可能性 ・筋力の低下 ・薬の飲み忘れ ・不規則な生活</p>	<p>利用者 家族 意見</p>	<p>10 立っているのもつら 手足のしびれが歩く時に身にならず 転んだり骨折しやすい</p> <p>(未) 痛がっているのを見ている (姉) 薬の飲み忘れ ・内服をしない行為は中々基礎疾患は悪化し 体質が弱体化する。 ・水分を控えた結果糖尿病のリスクとDM、高血圧が 進行すると脳梗塞の可能性が上がる。 ・足のしびれが強く、特に筋力が低下し痛みも増す</p>	<p>⑪ 意見 ・お風呂に入らない状態が続くと 感染の危険性がある。皮膚トラブルに にもつながる可能性があるので。 よけいに引きこもりになる。 ・移動ができない状態が続くと 委縮になってしまう。 ・下肢筋力、体力の低下、引きこもり の増大によりADL低下につながる。 ・痛み 体力低下により全身 機能の悪化につながる。</p>	<p>2 3 肉通</p>
B 11 ADL	<p>食事:自立。排泄:移動に段差があるので一部介助(一度トイレ沼に合わ なかったことがある)入浴:浴室までに段差が多数あり。浴槽への出入り のまたぎ時に介助(長女が土・日に1回介助)。更衣:7屈曲が不自由で 靴下は介助。移譲:不安定なために介助が必要。移動:段差がなければ つかまり歩行、見守り。整容:ほぼ自立。</p>	<p>・歩行時に足が 浴槽から立ち上がると ・お風呂が深いところ ・上下肢にしびれがある ・足がつかまりにくい ・腰痛がある ・筋力が低下している</p>	<p>利用者 家族 意見</p>	<p>利用者 ・調理は味付けの自信がなくなった。 ⑫ 自信の喪失に つながる。 家族 ・糖尿病食は作る事ができない ・自分の役割が減り、意欲低下 CMed 作る事により認知機能低下も増す ・痛みにより長時間立位をすることはできず (意欲低下)家事全般が行えていない。 ・住環境が悪いので家事がやり難い。</p>	<p>・痛み 体力低下により全身 機能の悪化につながる。</p>	<p>1 3 肉通</p>
C 12 IADL	<p>調理:数回したもの、ほとんど行っていない。買い物:日用品は長女、 総菜などは夫が買ってくる。掃除・洗濯・日曜日に長女が訪問して行く。 金銭管理:夫が行う ・2ヶ月前まで米料理していた。自信を失ってしまっている。</p>	<p>・認知機能の低下 ・意欲の低下 ・ヒザの痛みのため、 立位保持(長時間) 難しい ・立位歩行が困難になり 買い物、掃除などができなくなっている</p>	<p>利用者 家族 意見</p>	<p>⑬ 付いたものは洗って捨てる ・自分の役割が減り、意欲低下 CMed 作る事により認知機能低下も増す ・痛みにより長時間立位をすることはできず (意欲低下)家事全般が行えていない。 ・住環境が悪いので家事がやり難い。</p>	<p>⑬ 付いたものは洗って捨てる</p>	<p>1 3 肉通</p>
A 13 認知	<p>調理の味付けが以前のもので違う。同じものを繰り返し聞くことがある。 タンスに自分の持ち物を出し入れしたり、外出時に手提げ袋の中身を出 したり入れたりを繰り返す。 ・同じ話を繰り返す。 ・新聞は最近よまる。広告をみている</p>	<p>・単調な生活 ・人の声がかたがた ・手が持てず自信を失って いる。 ・刺激が少ない ・筋力の低下</p>	<p>利用者 家族 意見</p>	<p>⑭ 意見 現状は問題はないが、今後 認知症が進行する可能性あり。</p>	<p>・単調な生活、刺激が少ないことで 認知機能が低下して(ま)。 ・自分でできないこと、付いたものは洗って捨てることで 自信が喪失する</p>	<p>3 肉通</p>
B 14 コミュニケーション能力	<p>視力 聴力:問題なし 痛みが激しいときは、話がかみ合わないことがある。</p>	<p>⑮ 服薬の副作用 視力の問題 意欲の低下</p>	<p>利用者 家族 意見</p>	<p>利用者 ・膝や腰が痛く、ハイキングは行けなくな った。 ⑮</p>	<p>利用者 ・膝や腰が痛く、ハイキングは行けなくな った。 ⑮</p>	<p>3 肉通</p>
C 15 社会との関わり	<p>今年の4月より閉じこもった生活をしている。 長男の工務店で夫が働いているが、長男の訪問は不定期。長女は近所 に住んでいるが、共働きのため土日の見の訪問。 ハイキング仲間がいる、町田さん。4月以降来ていない。保育士をしてい た時の教え子が年に数回訪れる。4月以降来ていない。 2月</p>	<p>・歩行が困難になり、外 ・に足がつかまりにくい。 ・意欲の低下 ・友人が足を打って開けられ 少なくなった ・天祥子と仕事があり 来が本位。</p>	<p>利用者 家族 意見</p>	<p>家族 ・平日は仕事もあり土、日くらいしか ・教え子も2月以降来ていない。これがない CMed 膝の痛みの別生活自信の低下 ・外出の機会が減ることで閉じこもりに なるため筋力低下(軽微)の可能性も高まる 会話する機会がなくなり認知機能の低下も 友人との関係が薄くなる</p>	<p>⑯</p>	<p>3</p>

(アセスメントで明らかにするもの)

困りごと

生活全般の解決すべき課題
(ニーズ)仮置き

ニーズ番号
(優先順位)
仮置き

課題分析標準項目	状態	原因	問題(困りごと)	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)仮置き	ニーズ番号(優先順位)仮置き
A 16 排尿・排便	尿・便意はあるが、痛みのため思うように歩けず間に合わないことがあった。トイレは寝室の横。排便は4日に1回	・痛みがある。 ・段差があった。 ・予知の有無 ・ズボンの上げ下ろし ・DM、腎臓病の合併症 ・排便コントロールの必要性	利用者 16 トイレが近くなる 家族 1人で11時のトイレが心配 意見 間に合わないことがあった。段差があると危険。	17 7L 7L ・食事がタバコのみで状況がつかないこと。及つかない状況でしよる可能性がある	
A 17 じよく瘡・皮膚の問題	特に問題なし	(原簿) かか	利用者 ・本人が安心してトイレに行ける環境じゃない 家族 ・痛みがある。いきめはため便秘の可能性 意見 水分を控えること尿量減少。排便コントロールの必要性		
C 18 口腔衛生	部分義歯 歯磨きは自分でやっている。口腔内に異常なし。 フックもフックは問題なし		利用者 利用者 家族 意見 ・部分入れ歯を自分でやっている。 ・フックも持っているから大丈夫。	18 ①9 食量の減っている 食量の栄養バランスがかわっている 水分摂取量が減っている	
B 19 食事摂取	普通食摂取。医師より、低体重なので糖尿病食は摂らないでバランスの取れや食事で栄養改善を図るように言われている。 水分700ml。水分を勧めてもトイレに行きたくないからと拒否がある。 ・食事摂取量が減っている。 ・手のしびれがあるが何とか食べている。	・血糖値のコントロールが 低下 意欲の低下 自分の意見で水分制限	利用者 家族 意見 家族 意見 現状を維持、	19 変身 ①9 ①9 夫はほんがたける調理ができていない。 食事水分摂取量が減っている 体力・筋力・意欲低下が進行する可能性が高い。 低栄養・脱水症になり可能性が高い。自病の悪化、認知症の悪化につながる。 全身状態悪化する。	2 団連
A 20 問題行動	なし	・痛みがある ・自力がない ・転倒のリスクの低下	利用者 家族 意見 20 新聞がうまくはく振みきかない 外に出なくなると		
C 21 介護力	夫が介護をしているが、家事は全くしたことがなく、頑固な性格、大工仕事はしているが健康というほどではない。(虚弱) 長女は土日のみ。 ・長男のお嫁さんは娘さんと仲良く、仕事もかまわなくていい。 ・半信半疑食はついでに、こいちは7ヶ月、体力あつて2ヶ月 ・朝のトイレに夫がつかせ、夕方には夫がつかせると。	・夫も高齢で新しいこと(家事)を覚えるのが難しい ・妻の習慣性がない ・妻が介護である ・長男長女は生活習慣が決まっている(子供もいる)	利用者 家族 意見		
B 22 住環境	持ち家、2階建て、自室は1階にあり、1階部分で生活している。布団で寝起きをしている。 洗濯は行っていないため、2階には上がらない。段差が多い。 ・物干場が2F 階段が急い。 ・夫の作業着は長男 ・浴槽がたかた深い。手洗いのが大変	・つかるところが低い ・段差が高い ・体力筋力の低下 ・むと腰痛がある	22 問題 利用者: トイレに行くのは、いさふふふ つかまる場所がない 家の中に段差が多い 物干しが2階 布団から起きるのが大変 床から立つのが大変	22 ①9 つかるところが低い ①9 段差が高い ・体力筋力の低下 ・むと腰痛の痛みがある	
C 23 特別な状況	特になし 本人は月5万くらい厚生年金により支給されている 長女長男夫婦は金銭的にサポートする意向。	・特になし	家族(娘) 段差があると危険な高い高い ①9 夫は家族思いで大切にされている。 ①9 夫は家族思いで大切にされている 家族 ・長女、土曜しか休めない 長男夫婦 仕事が多忙のため来れない 夫、二人を救うことができない 自分も虚弱 ①9 腰の痛みがひどい入浴や移動に ・既往が必要になっており、夫や子供達も 負担が大きくなっているため、家族の負担も大きくなるとい可能性あり	21 利用者 ①9 夫は家族思いで大切にされている。 ①9 夫は家族思いで大切にされている	

10 痛みがなくなった。しゃべりやすくなりました。
 (夫) 痛みを軽減して欲しい。
 (娘) 車をちゃんと飲んで欲しい。
 忘れず(内服を)行って痛みをなくす。若くは疾患の悪化を防ぐこと。
 筋力を付けたい。体の力があつて痛みが少なくなる。こたえがなくなる。
 水分を控えず、食事をとるとして体力を付け、病気の悪化を防ぐ。
 ニース

利用者 (12) ニース
 ・お菓子作りをしたい
 ・散歩を再開したい
 家族
 ・妻の言うとおりにしてあげたい
 意見
 フカサるところがあれば、膝の痛み歩行の支障にあまり安全に室内が移動できること。痛みの軽減や活動量を増え、筋力もついてきて調理も行う時間も増えていく。意欲向上し自信の回復ができる。

利用者 (15) ニース
 友人とハイキングに行きたい。
 家族
 妻の言うとおりにして欲しい(夫)
 意見
 ・地域にも協力してもらい、そんな仲間になる友人や知人を自宅に集めてなどの交流の機会を作り、会話をすることで、生活が活発化につながり、本人の自信を持ってもらう。

利用者 (18) ニース
 ・特におし。
 家族
 ・なし
 意見
 現状の状況を悪化させないように維持できるように今後も確認をしていく。

利用者 (21) ニース
 ・(夫は家族思いでよく考えてくれる)
 家族
 ・土日しか来れない(長女) ・夫は介護をたくさんしている(虚弱)
 ・長男夫婦は仕事が多い。
 意見
 ・バテ、腰の痛みにより、入浴、移動介助には、まだ自力、夫、子供も介護の負担が大きくなり、これらを防ぐため、不安も大きく感じている。
 家族の

(11) ニース
 利用者: 自宅でお風呂に入りたい
 車はなくてトイレに行けず。
 一トでくつ下がはける。
 家族(娘): ニース以上悪くなるまいようにしてほしい。
 ハイキングに行けるようにしてほしい。

13 夫し
 夫し
 ・家族や友人と会う機会を増やすことで意欲の向上、生活が活性化し、認知機能が維持できる

16 一人安心してトイレに行けるようにしたい
 雑用(車いす、つまみ、トイレなど)
 トイレに行きたい。
 ・いきいたい時に一人でトイレに行けることで便秘が改善できる
 ・かまらなくてトイレに行けることで尿路感染が防げる

(19) 問題
 利用者: 食事の摂取量が減っている。
 食事の栄養バランスが偏っている。
 水分の摂取量が減っている。
 家族 = 夫はご飯はたけよか調理ができてない

(22) ニース
 利用者: 安全に家の中を移動する。
 床が楽に立つことができる。
 寝起きが楽にできる。
 家族(娘) = 段差をなくしたい
 楽にお風呂に入ってもらいたい

(11) CM
 ・自分でできる日常生活が増えていく
 ・栄養、痛みのコントロールを改善することで安定できる
 ・車いす予防のため、住宅改修が必要と思われず。

(14)
 認知症が進行しないように。
 ・活動性の改善
 ・他者とのコミュニケーション機会を増やす
 ・経過観察していく

17 夫し
 夫し
 CM
 食生活を整えることで皮膚の状態を新鮮にしたい。

(19) ニース
 栄養バランスのよい食事をとる
 水分を摂る
 からだにいいものを食べる。
 妻の料理を食べたい

(22) 意見 (CM)
 現在の住環境は、車いすによる骨格を崩す可能性が高い。時、腰の痛みが増える。椅子が硬い。車いすの寝たままにできる。

20 夫し
 夫し
 ・認知力が、さらに低下すること生活全般に介助が必要になる

本人 夫し
 家族 夫し (23) ニース
 CM
 経済的状況は把握できず、今後、サービス利用時は参考していく。

課題整理総括表

54

利用者名 神谷花子 様

作成日

平成30年4月10日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		① 下肢筋力・体力の低下		② 膝や膝の痛み		③ 住環境が整っていない			
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因 ※3		改善/維持の可能性 ※4		備考(状況・支援内容等)	
移動	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助	①②③ ④⑤⑥	改善 維持 悪化	・つたい歩き もしくは夫のついで で歩行している。			
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助	①②③ ④⑤⑥	改善 維持 悪化				
食事	食事内容	支障なし	支障あり	④⑤⑥	改善 維持 悪化	・夫が「はいとR.C. おかず」は 惣菜を食べている。 水筒摂取を促している。			
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	・味付けに自信があるので調理 している。			
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助	①②③ ⑤⑥	改善 維持 悪化				
排泄	排尿・排便	支障なし	支障あり		改善 維持 悪化				
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化				
口腔	口腔衛生	支障なし	支障あり		改善 維持 悪化				
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化				
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助	⑤⑥	改善 維持 悪化	・服薬忘れがある。			
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助	①②③ ⑤⑥	改善 維持 悪化	・娘の介助で週1回入っている。			
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助	①②③ ⑤⑥	改善 維持 悪化	・「つた」自分でできる。 くつ下は夫がはかせてかいている。			
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助	①②③ ⑤⑥	改善 維持 悪化	・娘が週1回掃除している。			
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助	①②③ ⑤⑥	改善 維持 悪化	・娘が洗濯している。			
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化				
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助	⑤	改善 維持 悪化	・夫が管理している。			
買物		自立	見守り 一部介助 全介助	①②③ ⑤⑥	改善 維持 悪化	・娘と夫が買物している。			
コミュニケーション能力		支障なし	支障あり		改善 維持 悪化				
認知		支障なし	支障あり	⑤⑥	改善 維持 悪化	・同じ話を繰り返す。くつ下の履き 忘れがある。			
社会との関わり		支障なし	支障あり	①②③ ⑤⑥	改善 維持 悪化	・今年の4月から家にとどいて天気が 知れず、教子も2月以降に帰っている。			
褥瘡・皮膚の問題		支障なし	支障あり		改善 維持 悪化				
行動・心理症状(BPSD)		支障なし	支障あり		改善 維持 悪化				
介護力(家族関係含む)		支障なし	支障あり	③⑥	改善 維持 悪化	・家族以外の生活がある ・夫に家事習慣がない。			
居住環境		支障なし	支障あり	①②③	改善 維持 悪化	・段差がある。つかまるところが ない。			
					改善 維持 悪化				

利用者及び家族の 生活に対する意向	お父さんと一緒にこの家で暮らしたい	
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

思考過程シート (ICFモデルを使った整理)

56

作成日 平成 年 月 日

課題分析標準項目	項目(ICF)	仮置きニーズ (項目ごとのまとめ)	仮置きニーズを確定するに当たって考えたこと (利用者の生活に何が起きているのか)		ニーズ番号	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)
			思考過程の記述	ニーズ確定のための具体策イメージ		
10 健康状態	健康に関すること (健康状態) 10	⑩ 痛みがなくなりたい。しびれがなくなるようにしたい。 (夫) 痛みなく遊んで欲しい (姉) 等をちゃんと、飲んで欲しい	⑩ 志しずには内服を行うことで、痛みがなくなり、基礎疾患の悪化を防ぐことができる。 ・筋力をつけたり、体の動かしかたを知ることで、痛みがなくなることができるようになる。 ・水分を控えず、食事をとることで体力をつけ、痛みの悪化を防ぐ。 ⑩ (CM)			
11 ADL						
12 IADL	心身状況に関すること (心身機能・身体構造) 13.14.16.17.18	13 なし (現状) なし	16 一人で安心してトイレに行けるようになった。 安全に(トイレ)、お風呂に入りたい。 トイレに行きたい			
13 認知						
14 コミュニケーション能力	日常生活に関すること (活動) 11.12.14.16.18.19.20	⑩ 家族や友人と会う機会を増やそうと、志望の向上、生活が活性化させ、認知機能が維持できる。 16 一人で安心してトイレに行けるようになった。 安全に(トイレ)、お風呂に入りたい。 トイレに行きたい	⑪ 11時〜12時に一人でトイレに行くことで、トイレが改善される。 ・がまんしなくてトイレに行くことで、月経感度が上がる。 ⑫ 自宅でお風呂に入りたい、こぼれお風呂に行ける、一人で下がる。	本人 お風呂に行きたい、サボりに行きたい ⑫ ニーズ 家族 車の言うとおりにして欲しい (夫) 志望 このままじゃあない、ヒザの痛み、歩行の安定に不安、安全に屋内を移動できるように、痛みの軽減や活動量増え、筋力をつけて、調理を行う時間も増えていくため、志望を向上し、自信の回復ができる。	⑬ ニーズ 利用者 友人とまたハイキングに行きたい 家族 本人の言うとおりになるとはいい CM 叔父も協力してもらって、頼りになっている友人知人を自宅に招くなど、交流の機会を作り、会話をすることで、生活の活性化につながり、本人の自信を持ってもらう。	⑭ ニーズ 本人 安全に家中を移動する、床から楽に立つことができる、掃除機が楽にできる。 家族 段差をなくしたい、楽にお風呂に入りたい。
15 社会との関わり						
16 排尿・排便	社会生活に関すること (参加) 15	利用者 ・友人とまたハイキングに行きたい 家族 ・本人の言うとおりになるとはいい CM 叔父も協力してもらって、頼りになっている友人知人を自宅に招くなど、交流の機会を作り、会話をすることで、生活の活性化につながり、本人の自信を持ってもらう。	⑬ 下肢筋力・体力向上、痛み軽減、栄養面の改善、転倒予防をしっかりと必要がある。 自分でできる日常生活が増える。 栄養、痛みのコントロールを改善して、安定できる。 車いす利用のための住宅改修が必要。			
17 じょく瘡・皮膚の問題						
18 口腔衛生	介護に関すること (環境因子) 21	⑮ ニーズ 本人 安全に家中を移動する、床から楽に立つことができる、掃除機が楽にできる。 家族 段差をなくしたい、楽にお風呂に入りたい。	⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			
19 食事摂取						
20 問題行動	環境その他に関する こと (環境因子・個人因子) 22.23	⑯ 本人 安全に家中を移動する、床から楽に立つことができる、掃除機が楽にできる。 家族 段差をなくしたい、楽にお風呂に入りたい。	⑳ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			
21 介護力						
22 住環境	環境その他に関する こと (環境因子・個人因子) 22.23	⑰ 本人 安全に家中を移動する、床から楽に立つことができる、掃除機が楽にできる。 家族 段差をなくしたい、楽にお風呂に入りたい。	㉑ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			
23 特別な状況						

⑬ ニーズ
利用者：栄養バランスの良い食事を採り、十分な水分を摂る、体に良い物を食べる。
家族：妻の料理が食べた。
- バランスの良い食事を採る。
- 一日1500mlの水分を摂取する。
- 体力向上が欲しい。